＜イベントレポート＞

平成23年11月19日
一般財団法人東京マラソン財団

東京マラソン２０１１チャリティ“つなぐ”
東日本大震災復興支援金／贈呈式
桃・柿育英会 実行委員長 安藤忠雄さんに
東京マラソン財団より寄付金734万余円贈呈

日時　　平成23年11月19日（土） 午前11時00分
場所　　安藤忠雄建築研究所（大阪府大阪市北区豊崎2-5-23）

本日11月19日（土）、一般財団法人東京マラソン財団は、東京マラソン2011におけるチャリティや本年5月22日に実施したオフィシャルイベントにおいて集めた寄付金のうち734万余円を東日本大震災の支援金として、「桃・柿育英会 東日本大震災遺児育英資金」へ寄付いたしました。

「桃・柿育英会 東日本大震災遺児育英資金」は、東日本大震災において家族をなくした震災遺児・孤児のための育英資金であり「震災孤児の学ぶ意欲を支え、希望ある将来へつなげる」というその基本理念が、東京マラソンのチャリティのテーマである「未来」や「夢」をつなぐという理念と合致していると考え、寄付を決定しました。

桃・柿育英会実行委員長の安藤忠雄さんは贈呈式の中で、**「日本人の底力をもって、震災の復興につなげていきたい」**とご自身の支援活動へ寄せる想いを熱弁した後、東京マラソンからの寄付金に対して、**「東京マラソンのような健康でかつ元気な日本をつくるための活動をしているところからご支援をいただけまして、大変ありがたく思っております。」**と感謝のお言葉をいただきました。

東京マラソン財団理事長、帖佐寛章は**「ロンドンマラソンでは63億、ニューヨークシティマラソンでは28億もの寄付が集まり、社会貢献に役立てられています。私は、東京マラソンを通じて社会に役立つためにはどうしたらよいか考えています。このようなマラソン大会を通じたチャリティが増えることで、震災復興に役立ち、日本の活性化に少しでもつながればと 思います。」**と東京マラソンを通じた社会貢献の理念と、東京マラソンの目指す未来像を語りました。

寄付金総額　　¥7,348,865

【寄付金　内訳】
①東京マラソン2011チャリティ寄付金からの東日本大震災への復興支援金　　¥6,500,000
②5月22日に実施した東京マラソン財団オフィシャルイベント『ファンラン for 東日本「ともに、走ろう！」』の参加者より集めた寄付金（一人あたり500円）及びチャリティオークションなどで集めた支援金額 等　　¥848,865

※チャリティランナー募集期間を延長しました。2011年12月16日（金）午後5時まで受付けています。

＜実施概要＞

式　　名	:**東京マラソン2011チャリティ“つなぐ”東日本大震災復興支援金の贈呈式**
開催日時	:2011年11月19日（土） 11:00～12:00
場　　所	:安藤忠雄建築研究所（大阪府大阪市北区豊崎2丁目5-23）
出 席 者	:桃・柿育英会　実行委員長　安藤 忠雄　様　（あんどう ただお） 東京マラソン財団理事長　帖佐 寛章　（ちょうさ ひろあき） 東京マラソン財団事務局次長　鳥田 浩平　（とりた こうへい）

【東京マラソン財団理事長　帖佐 寛章　挨拶】

昨年から東京マラソン財団の理事長となりまして、石原都知事の発案のもと、チャリティ制度を実施してきました。社会貢献をするにもどうしたらよいのか、考えていたところに、安藤先生の桃・柿育英会の活動を知りました。継続的に震災孤児を救う取り組みを続けていくという桃・柿育英会の活動に大変感銘を受け、ぜひご支援させていただきたいと思いました。

これからもぜひ、桃・柿育英会への寄付を続けていきたいと思っています。

今回、東日本大震災では、今年、東京マラソンを走られた箱石さんという方が3人の子どもを遺して亡くなられ、そのご家族を訪問させていただきました。そこで、傷ついたお子様が立ち上がるために、何が出来るのか、改めて考えさせれました。

ロンドンマラソンでは63億、ニューヨークシティマラソンでは28億もの寄付が集まり、社会貢献に役立てられています。私は、東京マラソンを通じて社会貢献するにはどうしたらよいか考えています。最終的には東京マラソンが10億、20億と寄付を集められるようになり、広く社会貢献していくのが私たちの夢です。

ただ競技マラソンの強い日本を作る、というだけではなく、競技マラソンと市民マラソンが一緒になって立ち上がり、このようなマラソン大会を通じたチャリティが増えることで、震災復興に役立ち、日本の活性化に少しでもつながればと思います。

【桃・柿育英会　実行委員長　安藤 忠雄　様　ご挨拶】

この度は桃・柿育英会の活動にご支援・ご協力いただきありがとうございます。

今回桃・柿育英会で募集を始めて1日にだいたい150人の申し込みがあり、合計約30億が集まりました。

現在もまだ毎日20～30人の方からお申し込みをいただいており、改めて日本人はすごいなと感じました。この日本人の底力をもって、震災の復興につなげていきたいと思っています。

今回、東京マラソンのような健康でかつ元気な日本をつくるための取り組みをしているところからご支援をいただけまして、大変ありがたく思っております。このお金は各都道府県の知事の方にきちんと届けていきたいと思うのですが、お金だけで終わってはいけないと思います。中高生への講演をはじめ、子ども達と触れる機会を増やし、こうした支援の大切さを伝えていきたいと思います。

＜参考＞チャリティランナー参加者詳細（11月18日10時時点）

■チャリティランナー参加者数　：　1,264人
※チャリティランナー参加者とは、申込みが完了された方でクレジットカード決済または、銀行振込が完了された方です。

■寄付金総額（寄付のみも含む）　：　1億2,790万3千円
※上記にランナーエントリー料は含んでおりません。